

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 11月

平成28年11月1日の推計人口 1,366,249人
世帯数 563,071世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成28年11月1日現在の推計人口は、1,366,249人で、前月(1,366,514)に比べ265人の減少となった。

市部では大村市(37)、諫早市(19)、島原市(3)の3市で増加し、長崎市(145)、佐世保市(54)、松浦市(43)、西海市(25)、五島市(22)、南島原市(22)、対馬市(19)、壱岐市(11)、平戸市(10)、雲仙市(6)の10市で減少した。

郡部においては、長与町(56)、時津町(25)、小値賀町(4)、佐々町(3)の4町で増加し、新上五島町(29)、波佐見町(12)、川棚町(11)、東彼杵町(3)の4町で減少した。

自然動態は、出生数919人、死亡数1,429人で510人の減少、社会動態は、転入者数3,161人(県内転入を含む)、転出者数2,916人(県内転出を含む)で、245人の増加となった。

2 世帯数

平成28年11月1日現在の世帯数は、563,071世帯で前月(562,887)に比べ184世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…9月

1人当たり現金給与総額 249,954円
対前月比 1.3%減少
対前年同月比 0.2%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額249,954円で、前月に比べ1.3%減少し、前年同月に比べ0.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,926円で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ0.5%増加した。

特別給与額は3,028円で、前年同月に比べ、417円減少した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は156.8時間で、前月と同水準で、前年同月に比べ0.9%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は144.8時間で前月に比べ0.3%減少し、前年同月と比べ1.3%増加した。

所定外労働時間数は12.0時間で、前月に比べ3.4%増加し、前年同月に比べ4.8%減少した。

3 雇用

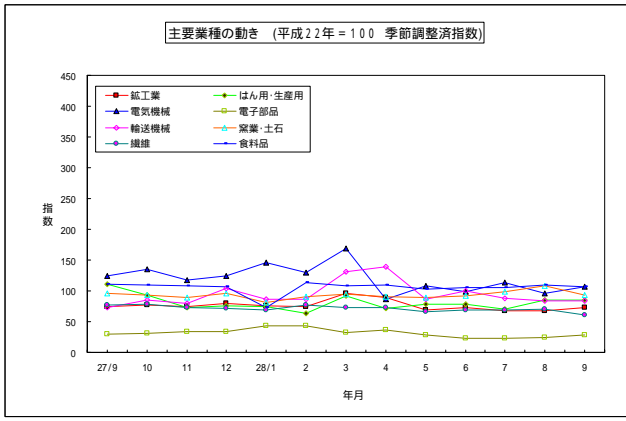
9月の常用労働者数は213,336人で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ0.7%増加した。

【鉱工業生産指数】……………9月

平成28年9月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	72.7	7.1	78.4	4.3
九州	106.7	1.6	111.0	6.3
全国	98.4	0.6	103.5	1.5



平成28年9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が72.7で前月比は7.1%の増、原指数は78.4で、対前年同月比は4.3%の減となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、電気機械工業、はん用・生産用機械工業など7業種が上昇し、窯業・土石製品工業、繊維工業、食料品工業、輸送機械工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	13.3	6.9	シリコンウエハ
電気機械工業	12.7	17.8	交流発電機
はん用・生産用機械工業	0.2	24.5	ボイラ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	13.3	2.6	生コンクリート
繊維工業	12.4	20.0	織物製外衣
食料品工業	2.0	2.9	焼酎
輸送機械工業	1.1	12.1	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………10月

総合指数(H27=100)	100.5
対前月比 (%)	0.3
対前年同月比 (%)	0.1

平成28年10月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.5である。

前月比は、0.3%の上昇で、上昇要因は「食料」の+0.8%、「教養娯楽」の+0.9%であり、下落要因は、「交通・通信」の0.2%、「保健医療」の0.5%である。

前年同月比は、平成28年7月は+0.1%、8月は+0.1%、9月は0.2%と推移した後、10月は0.1%であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.0であり、前月比は0.0%の同水準、前年同月比は0.3%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.8%
教養娯楽	0.9%
諸雑費	0.4%

下落した費目

家具・家事用品	0.3%
被服及び履物	0.1%
保健医療	0.5%
交通・通信	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……10月

消費支出(一世帯当たり)	305,823円
前月比	40,317円増(15.2%増)

平成28年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は305,823円で、前月比15.2%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は95.9%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	65,887	6.9
住居	22,372	47.0
光熱・水道	19,950	1.4
交通・通信	83,412	146.6
教養娯楽	18,087	4.2

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。